



流山「暮らしと自然のふれあいマップ」作り 第 1 回ワークショップの結果概要レポート

ワークショップの趣旨

千葉県流山市は「都心から一番近い森の街」として積極的に緑豊かなまちづくりに取り組んでいる街で、市民による環境保全活動も活発です。しかしつくばエクスプレスの沿線開発や農地の放棄などにより現在でも少しずつ自然が失われつつあります。身近な生き物が姿を消してだけでなく、美しい鳥や虫の声が聞こえる場所や子ども達が自然に触れあえる場所、果物・野菜の受粉を助けるハチが姿を消していくことは、私たちの産業や福祉・教育といった暮らしの豊かさにとっても影を落とすものです。



そこで、日々の暮らしの中で体験する自然とのふれあいを見つめ直し、私たちに自然の恵みをもたらしてくれる市内の重要地域を発見して「ふれあいマップ」としてまとめる取り組みを始めました。

開催日時・参加者

ふれあいマップを作るための第 1 回ワークショップを以下のとおり開催しました。

- 開催日時・場所： 2012 年 7 月 8 日 初石公民館
- 主催：(財)日本自然保護協会、(特活)NPO さとやま
- 参加者

流山で活動する以下の団体から 18 名の方に参加いただきました。

NPO さとやま	里山ボランティア流山
NPO 黄河流域に植林の会	小さな森づくり in 流山 プロジェクト
NPO せっけんの街	利根運河の生態系を守る会
NPO ホタル野	流山市役所
Green Future Foundation	

ワークショップの概要

ワークショップでは、4つのテーブルに分かれ、流山で私たちに自然の恵みをもたらしてくれている将来引き継ぎたいような「重要地域」についての情報を出し合いました。グループごとに「生きものにとっての恵み」「心と体への恵み」「食の恵み」「子どもへの恵み」の 4 つのテーマを設け、それぞれの恵みをもたらしてくれる重要地域の位置を地図に書き込んでいきました。最後に結果を発表し、流山の重要地域についての認識を共有しました。

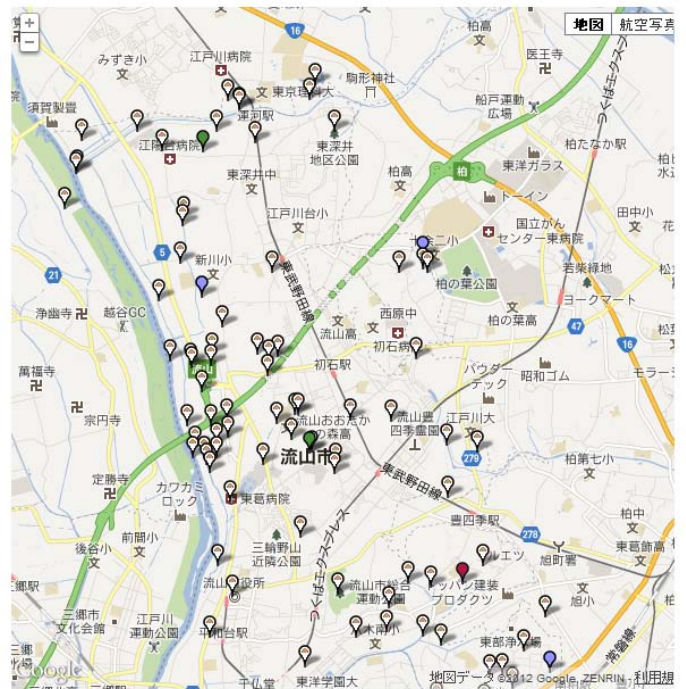
結果



ワークショップを通じて、流山市での暮らしと自然のふれあいの場として大切だと思う場所のポイントが約 150 地点も集まりました。また 4 グループの地図を比較してみると、「市野谷の森」や「運河エリア」など、すべてのテーマで共通して重要な場所に選ばれたエリアが浮かび上がってきました。逆に、市街地などあまり印がつかない場所も見えてきました。普段漠然と感じていることが地図上に情報として現れることで、改めてそれぞれの認識を深めることができました。

当日あつまったデータは、全て日本自然保護協会の以下のウェブサイトで見ることが可能ですのでご覧ください。

「暮らしと自然のふれあいマップ@ちば」
<http://chiba.ikimonomap.info/>



今後の予定

- ・ 今後も記録用紙とインターネットを使って流山での「暮らしと自然のふれあいデータ」の収集を続けます。
- ・ 次回ワークショップは 12 月に開催予定です。最終的に、集まったデータを元に流山の各エリアの「暮らしと自然のふれあいガイドマップ」を作成してお配りする予定です。

問い合わせ先 「下総生物多様性アクションプラン事務局」

(財)日本自然保護協会 保全研究部 高川晋一・小此木宏明

〒104-0033 東京都中央区新川 1-16-10 TEL:03-3553-4104 FAX:03-3553-1039

メール: shimousa@nacsj.or.jp ウェブサイト <http://www.nacsj.or.jp/katsudo/waytob/shimousa/>



※このプロジェクトの一部は地球環境基金の助成を受けています。